

令和4年度下半期 瑞穂町下水道事業の業務状況

1 事業の概況

令和4年度の汚水処理の状況は、下半期は処理水量が1,763,939m³、年間有収水量は、3,545,053m³（前年度比3.5%減）となりました。

収益的収入の主な収入である下水道使用料の調定額は、下半期が206,483千円、決算額は432,265千円（前年度比6.6%減）となりました。また、一般会計からの負担金（雨水処理負担金と汚水処理負担金）は下半期が88,207千円、決算額は228,207千円（前年度比6.3%減）となりました。

収益的支出の主な支出として、業務費の多摩川上流流域下水道維持管理負担金の下半期が119,921千円、決算額は160,143千円（前年度比2.1%減）、減価償却費は下半期に全額執行し、決算額は642,391千円（前年度比0.9%増）、支払利息及び企業債取扱諸費の下半期が14,920千円、決算額は30,697千円（前年度比10.4%減）となりました。

資本的収入の主な収入として、企業債の下半期が95,200千円、決算額は95,200千円（前年度比17.0%増）となりました。

資本的支出の主な支出として、管渠整備費の公共下水道管渠布設工事の下半期が18,206千円、決算額は57,802千円（前年度比209.2%増）、企業債償還金の下半期が69,526千円、決算額は138,168千円（前年度比5.8%減）となりました。

2 経理の状況

(1) 収益的収支の状況

単位：千円

収 入				支 出			
区分	予算額	決算額	執行率	区分	予算額	決算額	執行率
営業収益	518,399	509,372	98.3%	営業費用	1,073,333	1,056,657	98.4%
下水道使用料	441,276	432,265	98.0%	管渠費	86,808	82,981	95.6%
他会計負担金	76,877	76,877	100.0%	ポンプ場費	30,528	29,047	95.1%
その他営業収益	246	230	93.5%	業務費	214,528	203,367	94.8%
営業外収益	625,006	625,012	100.0%	総係費	99,077	98,871	99.8%
受取利息及び配当金	1	3	300.0%	減価償却費	642,392	642,391	100.0%
他会計負担金	151,330	151,330	100.0%	営業外費用	34,027	34,006	99.9%
長期前受金戻入	463,858	463,862	100.0%	支払利息及び企業債取扱諸費	30,717	30,697	99.9%
補助金	9,817	9,817	100.0%	消費税及び地方消費税	3,310	3,309	100.0%
				予備費	5,000	0	0.0%
				予備費	5,000	0	0.0%
合計	1,143,405	1,134,384	99.2%	合計	1,112,360	1,090,663	98.0%

(2) 資本的収支の状況

単位：千円

収 入				支 出			
区分	予算額	決算額	執行率	区分	予算額	決算額	執行率
企業債	130,000	95,200	73.2%	建設改良費	279,944	224,843	80.3%
企業債	130,000	95,200	73.2%	管渠整備費	264,263	209,163	79.1%
他会計出資金	40,000	40,000	100.0%	多摩川上流流域下水道建設負担金	7,694	7,694	100.0%
他会計出資金	40,000	40,000	100.0%	多摩川上流流域下水道改良負担金	7,987	7,986	100.0%
補助金	3,937	2,100	53.3%	固定資産購入費	18,187	18,187	100.0%
国庫補助金	3,750	2,000	53.3%	有形固定資産購入費	18,187	18,187	100.0%
都補助金	187	100	53.5%	企業債償還金	138,169	138,168	100.0%
負担金	81,975	81,975	100.0%	企業債償還金	138,169	138,168	100.0%
受益者負担金	81,819	81,819	100.0%				
国庫負担金	156	156	100.0%				
合計	255,912	219,275	85.7%	合計	436,300	381,198	87.4%

令和5年度 瑞穂町下水道事業の予算の概要及び事業の経営方針

1 予算の概要

(1) 収益的収支の状況

単位：千円

収入				支出			
区分	令和5年度	令和4年度	比較	区分	令和5年度	令和4年度	比較
営業収益	538,677	528,216	10,461	営業費用	1,132,309	1,091,676	40,633
下水道使用料	453,329	441,276	12,053	管渠費	140,112	95,070	45,042
他会計負担金	85,172	86,694	△ 1,522	ポンプ場費	36,433	30,759	5,674
その他営業収益	176	246	△ 70	業務費	218,578	216,863	1,715
営業外収益	667,729	616,869	50,860	総係費	92,892	106,840	△ 13,948
受取利息及び配当金	1	1	0	減価償却費	644,294	642,144	2,150
他会計負担金	150,652	151,330	△ 678	営業外費用	29,027	30,641	△ 1,614
補助金	20,983	0	20,983	支払利息及び企業債取扱諸費	29,027	30,641	△ 1,614
長期前受金戻入	465,489	462,008	3,481	予備費	5,000	5,000	0
雑収益	105	0	105	予備費	5,000	5,000	0
消費税及び地方消費税還付金	30,499	3,530	26,969				
合計	1,206,406	1,145,085	61,321	合計	1,166,336	1,127,317	39,019

(2) 資本的収支の状況

単位：千円

収入				支出			
区分	令和5年度	令和4年度	比較	区分	令和5年度	令和4年度	比較
企業債	427,300	182,300	245,000	建設改良費	796,244	307,910	488,334
企業債	427,300	182,300	245,000	管渠整備費	751,238	286,821	464,417
他会計出資金	36,000	46,200	△ 10,200	多摩川上流域下水道建設負担金	34,414	10,125	24,289
他会計出資金	36,000	46,200	△ 10,200	多摩川上流域下水道改良負担金	10,592	10,964	△ 372
補助金	305,342	3,937	301,405	企業債償還金	138,064	138,169	△ 105
国庫補助金	290,803	3,750	287,053	企業債償還金	138,064	138,169	△ 105
都補助金	14,539	187	14,352	固定資産購入費	0	27,000	△ 27,000
負担金	843	85,554	△ 84,711	有形固定資産購入費	0	27,000	△ 27,000
受益者負担金	573	85,398	△ 84,825				
国庫負担金	270	156	114				
合計	769,485	317,991	451,494	合計	934,308	473,079	461,229

2 事業の経営方針

瑞穂町は、昭和49年度から下水道事業に着手し、令和4年度末時点で下水道普及率は、98.2%となっています。しかし、未普及地域への下水道整備、浸水被害への対応、施設の老朽化や耐震性など新たな課題に直面しています。このような中、将来にわたり安定的に公共下水道サービスを提供していくため、令和2年4月1日から地方公営企業法の財務規定等を適用し、複式簿記・発生主義に基づく公営企業会計方式による経理を開始しました。

このことにより、経営の健全化、効率化を図りながら、さらなる経営基盤の強化を目指します。

令和5年度予算における取組は、下水道施設の維持管理（収益的収支）として、①管渠内清掃を行うとともに、異常箇所等の補修を行います。②駒形汚水中継ポンプ場のポンプの運転管理、施設設備等の点検を行います。③大雨対策として、浸入水調査及び雨水管理総合計画の作成を行います。④公共下水道事業計画を定めるのに必要な雨水排水区画割平面図の作成を行います。

また、下水道施設整備（資本的収支）として、①衛生的で快適な生活環境を図るため、汚水管渠布設工事を行います。②下水道総合地震対策計画に基づき、減災対策としてマンホールトイレの設置工事を行います。③安全安心な住民生活の実現に向けた雨水対策のため、長岡1号幹線布設工事を令和4年度から令和6年度までの3年間の継続事業として実施します。

引き続き、下水道事業の財源として、下水道使用料、補助金、下水道事業受益者負担金、企業債等の確保に努めた経営を行い、公営企業会計に基づいた、経営の効率化を図り、より一層の行政サービスの向上に努めます。